

県内全ての乳幼児・小中高校生、及び保護者・保育園・幼稚園・学校等で子どもに接する大人の方へ

ま 麻しん(はしか)ワクチンの緊急接種のお勧め

秋田県小児保健会からの緊急のお願いです。

既にニュースなどでご存知と思いますが、現在、秋田県で麻しん(はしか)が流行しています。大館地方では大きな流行になっており、秋田市へも波及し、全県に広がる危険性があります。県内の全ての乳幼児・小中高校生及び保護者を始め、保育園・幼稚園・小中高の現場の方など、子ども達に接する機会の多い大人の方への配布をお願い致します。



□特に1歳未満のお子さん(乳児)の保護者の方へ

お母さんが小さい頃に麻しんにかかったり、麻しんワクチンを受けたりして十分な免疫がある場合、乳児はその免疫をもらっていますが、生後6カ月以降は免疫が殆ど残っていません。通常は麻しん流行がないのでお母さんの免疫が完全に切れてと思われる満1歳になってからのMRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)の定期接種となっています。しかし麻しん流行時には、麻しんの免疫が殆どない乳児が最も危険にさらされます。万一、乳児が麻しんにかかると重症になる場合もあります。緊急避難として満 1歳前(通常は生後6ヶ月～)でも麻しんワクチン接種が勧められます。MRワクチンも接種可能ですが、乳児では安全性の点から麻しんワクチンが勧められます。任意接種になりますが、お子さんが麻しんにかかってしまう前に早急に受けましょう。なお今回麻しんワクチンを接種しても、1歳からのMRワクチンの定期接種は必要です。遅くとも1歳3ヶ月(生後15ヶ月)頃までにMRワクチン接種を受けて十分に麻しんの免疫を高めておきましょう。

□ 1歳～2歳未満と小学校入学前のお子さん(年長組)の保護者へ

1歳から2歳は最も麻しんにかかり易く、保育園などを長期にお休みすることにもなります。中には重症になり、肺炎や脳炎にかかって命にかかわることがあります。

定期接種(1期:1歳児で誕生日前日から2歳の誕生日前々日まで 2期:小学校入学前の1年間でいわゆる年長組の方)に該当していて、まだMRワクチン接種を受けていない方は大至急ワクチンを接種して下さい。

□2歳以上から年中組の幼児、および小中高校生のお子さんの保護者へ

まだ一度も麻しんワクチン接種を受けたことがないお子さんは、MRワクチン(または麻しんワクチン)接種の緊急接種をお勧めしています。定期接種の対象外の方は任意接種になりますが、麻しんにかかることの重大さを考えて、大至急受けましょう。

□子どもに接する全ての保護者・保育園・幼稚園・学校の大人の方へ

子どもに接する大人の方で、麻しんワクチン接種を受けたことがない方、明らかに麻しんにかかった方以外は、MRワクチン(または麻しんワクチン)の任意接種をお勧めしています。ワクチン歴や罹患歴は親や本人の記憶でははっきりしない場合も多くあります。一般に40歳未満の方は自然に麻しんにかかった方が少なく、万一自分自身がかかりますと子ども達にうつしてしまう危険性があります。麻しん抗体検査(かかったことがあるかやワクチン効果が残っているか、の検査)を行うことも可能ですが、結果が出るまでに時間もかかりますので、麻しん流行が迫っている場合は早めのワクチン接種が望まれます。仮に十分な免疫がある上に接種したとしても一層免疫を高めることになり、予防接種時の通常の副反応以外に大きな影響はありません。



詳しくは、県内の小児にかかわる医師または秋田県小児保健会にご相談下さい。